

■ 参院選を振り返って(事務局長 田代 周)

令和元年7月21日(日)、第25回参議院議員通常選挙が実施されました。

選挙区選挙では与党に対抗すべく野党各党が共闘を組み選挙戦に臨みましたが、さほどの成果も得ず、与党の強力な壁を打ち砕くところまでには行きませんでした。

JAM本部が「田中ひさや」候補を比例代表区に擁立し、全国を巡り支援の輪を広げてきましたが、残念ながら当選を果たすことができませんでした。

皆様のご支援に感謝いたしますと共に、再チャレンジに向けてあらたな展開を繰り広げていくことになります。

比例代表区では政党名、個人名のいずれかで投票して、その総数から政党別に当選者の数が決まり、党内における順位は個人名の多い候補からとなります。

「田中ひさや」が得た14万票余は党内候補5番目の順位でした。国民民主党が得た340万票余では3人の枠しか確保できず、個人でそれぞれ25万票以上を確保した3人の候補が当選となりました。14万票といえば、かつて民主党の時代には当選も可能な数でした。

他党当選者の票数を見ると、はるかに少ない個人票で当選した人もいますが、これは立候補した党の知名度や組織力の違いが現れた結果といえるでしょう。

今回の選挙から比例代表区に新たな制度として“特定枠”が設けられました。

特定枠の候補者は選挙運動が認められません。したがって当人が得る票は少ない可能性があります。政党名が書かれた票、及び政党内の候補者全員が得た票の総数で当選枠が決定し、特定枠候補から優先的に当選者が決定します。

結果として、今回の選挙で「れいわ新選組」は230万近い票を得て、2人の特定枠候補が当選しました。しかし個人で百万票近くを得た党の代表は落選となりました。

有権者の支持を集め大量に得票した候補者が特定枠の後回しとなって議席を得られないのは、投票価値の平等に反するのではないかという指摘もあります。

今回の投票率は48.8%となり、過去2番目に低い投票率でした。

与党に拮抗する野党が存在せず、国政における重要な争点がありながら、野党無視の与党と与党批判のみの野党では国民の政治に対する意識も高まることはありません。

さらにタレント候補を目玉にして票稼ぎを図るのではないかと思われる事例もあり、これでは参議院そのものの存在意義が問われてもしょうがないでしょう。

組織内候補として皆で力を合わせ支援して国会に送りこみ、私達のために地道な活動を進め、今までに様々な改善を果たしてくれた組織内議員の成果がありました。

3年前に続き今回の落選で組織内議員に6年間もの空白ができます。

当選を目指すために立候補する党を変えるのは邪道です。政党はあくまで同じ目標に向かって国政を動かすもの同志の集まりであるべきです。

今後、政界がどのように再編成されて行くのかわかりませんが、会員の皆様の政治に対する強い関心とご支援をこれからもよろしく願いいたします。

■トピックス:小惑星2019OK

7月25日に巨大小惑星が地球のすぐそばを通り過ぎていきました。距離は72,000kmで、BS放送や通信で利用される静止衛星が36,000kmの高度であることを考えると、この近さはまさに恐ろしいほどのニアミスです。



大きさ100mほどもあるこの小惑星は“2019OK”と命名されましたが、大気圏に突入すればかなりの部分が燃え尽きるとはいえ、もし東京に落下したら首都圏に壊滅的な被害をもたらすものだったとのことです。

地球に接近する小惑星は数多くあって、米国NASAを中心に地球防衛隊が構成され、多くの科学者が全世界規模で地球に近づく小惑星の観測をしています。

小惑星の多くは時間的に余裕を持った段階で事前に発見され、周到な軌道計算の基、地球への落下予測が行われます。しかし、今回それを発見したのが地球接近の2～3日前であったとのことで、一瞬青くなった天文学者もいたのではないのでしょうか。

私たちが知ったのは、それが通り過ぎた後でした。何事も起きず平然と過ごしていました。昨今、米中貿易摩擦、日韓の対立、ホルムズ海峡での衝突など、地球上あちこちで摩擦が生じていますが、人知を超えた巨大エネルギーがもたらす自然現象に比べたら、このような地上の摩擦などまったく小さい、小さい、小さい・・・。

■事務局から

(1) 7月末で平成31年・令和元年度の活動が終了しました。この一年を振り返ってみると、本部・支部の行事、全12回の開催で、参加会員は95名、参加数は延べ262名となっています。この他に、寿会や外部サークルとの交流から参加された方も加えると、シニアクラブ行事への総参加者は延べ292名となりました。

なお各地方JAMの行事に参加して外部の人たちと交流を深めた方もいますが、この数字に含めていません。ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

しかし、多くのリピート参加者がいる反面、一度も参加されない方も多くいらっしゃいます。

年間の事業企画を組むに当たり、固定客的な参加者の存在は勿論大歓迎なのですが、新たに行事参加される方が多く現れることを強く期待しております。

まずは10月9日(水)開催の総会に是非ご参加ください。

活動内容をよりご理解いただけるよう「平成31年・令和元年度 活動の記録」を作成し、同封しましたので長く保存してご参照ください。更に詳しい内容がシニアクラブのホームページでご覧いただけます。 <http://www.jvc-senior.com/> をお気に入りに登録してください。

(2) 令和2年度総会案内 及び 年会費納入のお願い(同封の案内をご参照ください)

令和元年10月9日(水)開催の総会案内を別紙にて同封しました。今回は第18回目の開催となります。多くの皆様にご参加いただき、総会・懇親会を意義あるものにしていただきたいと思います。尚、同封の返信はがきの投函とともに、同封の振込用紙による年会費のお振り込みもよろしくお願いいたします。(振り込み料金は本部負担です)

事務局長 田代 周